

CITY OF YOKOHAMA

# 不登校児童生徒の新たな居場所の開設

公民連携による教育支援センター

2023年9月22日  
市長定例記者会見

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

# 不登校児童生徒の現状

## 不登校の児童・生徒数は全国的に増加傾向

【全 国】

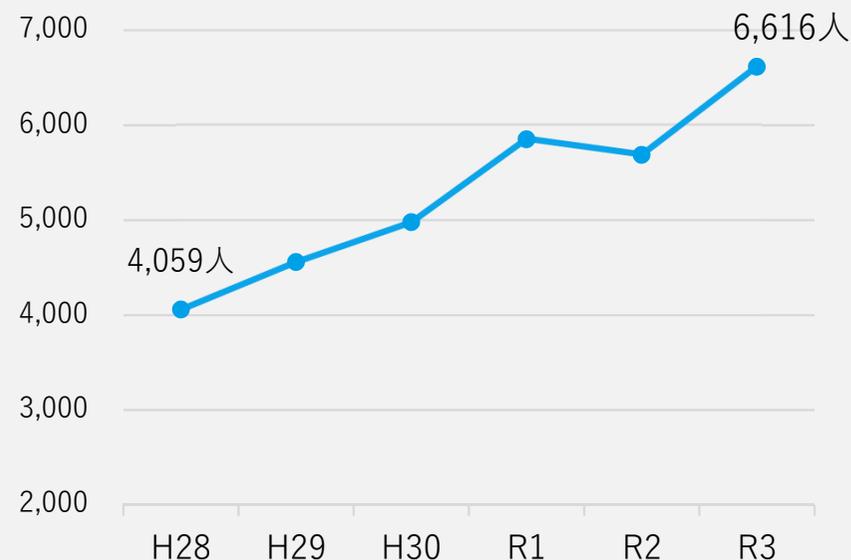
約24万5千人 (R3年度)



文科省「COCOLOプラン」※

【横浜市】

6,616人 (R3年度) 5年間で約1.6倍



※「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」  
令和5年3月31日 文部科学省発出

## 一人ひとりの特性に応じた

- ・ 安心できる居場所
- ・ 個別最適な学び

### 【 学 校 】



校内ハートフル※  
(55校：5年9月現在)

### 【 校 外 】



教育支援センター  
(15か所：5年9月現在)

### 【 家 庭 】



オンライン  
学習教材の活用

※市立中学校で実施している校内教育支援センター

# 横浜市の不登校児童生徒支援の考え方

## 【校外】 教育支援センター (不登校児童生徒の通室施設)

### 居場所中心 (5か所)

活動内容：創作活動や軽スポーツなど

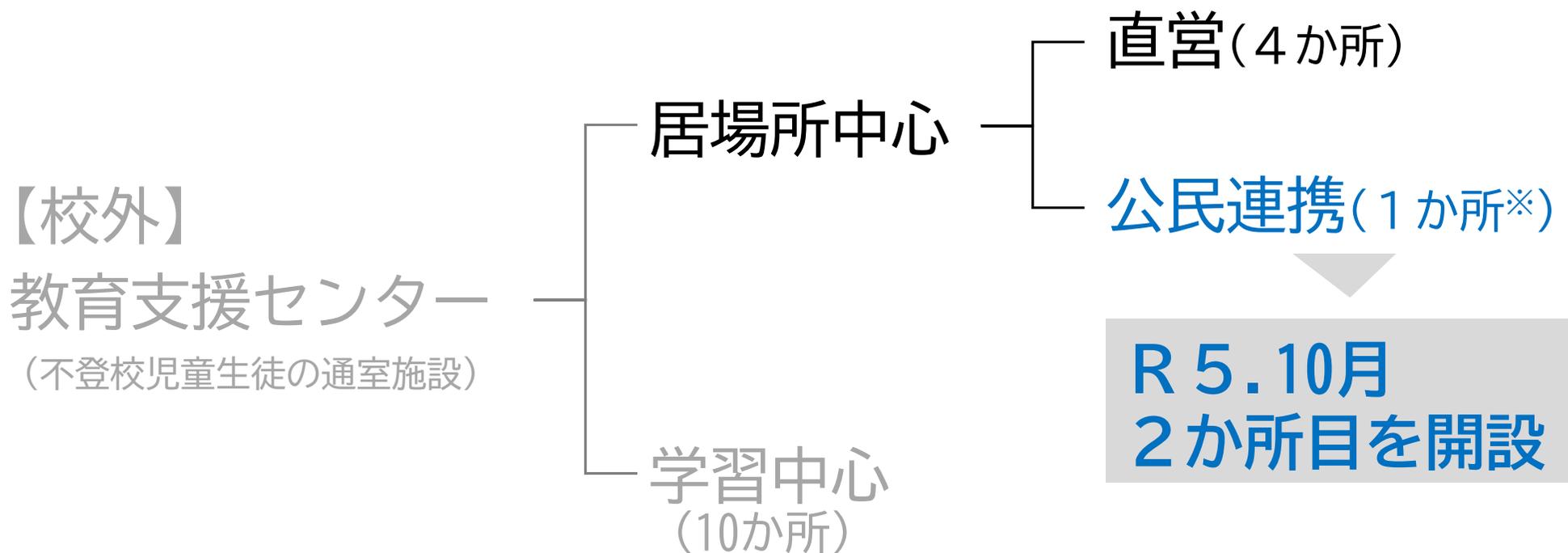
活動目的：自己肯定感・他者と関わる力の育み

### 学習中心 (10か所)

活動内容：学習等を中心とした集団活動

活動目的：基本的生活習慣の確立・個別最適な学びの確保

# 横浜市の不登校児童生徒支援の考え方



※既存の公民連携教育支援センター：ハートフルみなみ（南区）

# 公民連携による新たな教育支援センターの開設

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

## ハートフル西部

開設日

令和5年10月2日（月）

場所

泉区いちょうコミュニティハウス  
泉区・旭区の地域ケアプラザ等

受託  
事業者

一般社団法人かけはし

横浜子ども支援協議会 参画団体  
泉区こども若者の居場所連絡協議会 運営団体  
2022年度キララ賞（かながわ若者生き生き大賞）受賞  
不登校児童生徒の居場所事業のほか、  
地域カフェ・農園体験事業等を実施



# 公民連携による教育支援センターの特長

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

## ■民間のノウハウを取り入れた支援

多彩な体験活動によって、子どもの興味関心を高める

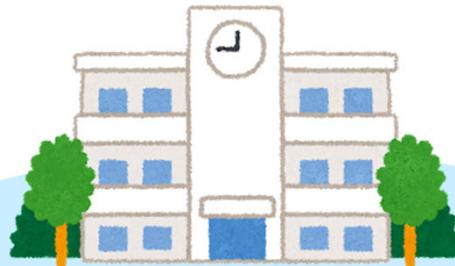


## ■地元根ざした民間団体ならではの活動

地域住民との関わりや地域活動への参加を通じ、  
子どもの社会性を育む



学校



家庭



校外



安心できる居場所  
個別最適な学び



オンライン